

令和5年度

事業報告及び決算報告書

公益財団法人 千葉県下水道公社

— 目 次 —

公益財団法人千葉県下水道公社の概要	1
令和5年度事業報告	
I 事業概要	2
II 事業別概要	2
公益目的事業	
1. 普及啓発事業	2
2. 管理事業	4
3. 建設事業	6
III 庶務	
評議員会及び理事会の開催状況	7
役職員の状況	9
職員の状況	10
組織図	10
令和5年度決算報告	
貸借対照表	11
正味財産増減計算書	12
正味財産増減計算書内訳表	15
財務諸表に対する注記	18
附属明細書	20
財産目録	21

事業報告書

公益財団法人千葉県下水道公社の概要

下水道は、市街地の雨水排除及び生活排水などの汚水処理により、浸水の防除や都市の生活環境を改善し、河川・湖沼等の公共用水域の水質を保全するために不可欠な施設です。

公益財団法人千葉県下水道公社は、平成4年3月25日に、流域下水道の維持管理及び公共下水道に関する業務を行うほか、下水道知識の普及啓発活動、下水道技術の調査研究及びその成果の活用等を行い、県及び市町村の下水道事業に協力し、もって県民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として設立されました。

【概要】

- 1 法人の名称 公益財団法人 千葉県下水道公社
- 2 設立年月日 平成4年3月25日
(平成25年4月1日 公益財団法人として名称変更及び移行登記)
- 3 事業所及び所在地 本社
総務部総務課・施設管理部管理課・建設部建設課
千葉県美浜区磯辺8-24-1
施設管理部
花見川処理場
千葉県美浜区磯辺8-24-1
花見川第二処理場
千葉県美浜区豊砂7
手賀沼処理場
我孫子市相島新田85-5
江戸川第一処理場
市川市本行徳地先
江戸川処理場
市川市福栄4-32-2
- 4 役職員及び評議員 P9 参照
- 5 基本財産 3億6千7百万円
(千葉県：2億円 千葉県企業局：3千万円
県内54市町村：1億3千7百万円)
- 6 事業内容 (1) 流域下水道施設の維持管理業務に関すること
(2) 下水道知識の普及啓発に関すること
(3) 下水道技術の調査研究及びその成果の活用に関すること
(4) 下水道の多目的活用に関する調査研究及びその成果の活用に関すること
(5) 下水道技術者の養成に関すること
(6) 下水道事業に係る建設業務に関すること
(7) その他公益目的を達成するために必要な事業

令和5年度事業報告

I 事業概要

公益財団法人千葉県下水道公社財務規程第4条において、公社の事業は、普及啓発事業、及び管理事業並びに建設事業に区分して行わなければならないと規定されており、この区分に従って令和5年度に実施した事業の概要を記す。

1 普及啓発事業

- 1 「下水道の日」（9月10日）を中心に幹線道路の歩道橋に標語入り横断幕を掲出したほか、地元紙への寄稿や広告掲載により、下水道への理解を深めてもらう広報活動を行った。
- 2 下水道教室や施設見学会を開催し、実際に見て・触れることにより下水道の役割や仕組みを体験してもらう活動を行った。
- 3 エネルギーと水質のバランスの取れた水処理の実現に向けて、送風量の最適化により、電力量の削減と規制基準値を安定して、満足する処理水質の両立を目指す運転方法について、調査・検討・検証運転を実施した。
- 4 市町村及び県下水道担当職員を対象とする講習会を開催し、講義と併せて、3Dモデルや管更生工法の実演を行った。
また、市町村下水道担当職員を対象とした研修参加に要する費用の一部を助成した。

2 管理事業

- 1 千葉県から印旛沼、手賀沼、再生水利用下水道の各施設の維持管理業務に係る履行監視業務等や江戸川、下水処理水再利用の各施設の維持管理業務を行うとともに、修繕工事に係る設計積算業務、施工監理業務等を行った。

3 建設事業

- 1 県内市町村から公共下水道施設に係る設計業務、建設工事、施工監理業務を受託した。

II 事業別概要

【普及啓発事業】

1 下水道の日行事

下水道の日に合わせて、下水道に対する県民の理解と関心を深めることを目的に次の諸行事を行った。

- (1) 下水道推進標語入り横断幕を掲出した。（国道126号千葉市穴川他6箇所）
- (2) 交通機関での下水道PRポスターを掲示した。（千葉県内のJR、私鉄、バス）
- (3) 県内市町村へ下水道PRポスター及び啓発品（キッチンペーパー）を配布した。
- (4) 新聞、フリーペーパー及びラジオでPR広告・放送を行った。
（千葉日報、地域新聞、ベイFM）
- (5) 集客施設最寄駅の大型スクリーンでPR広告を行った。（海浜幕張駅他2箇所）
- (6) ホームページで、千葉県誕生150年に関連した内容を掲載した。

2 処理場見学

令和5年5月から一部の処理場で見学の受入れを再開し、409人が来場した。

件数	見学場所	見学者
13件	手賀沼終末処理場	136人
14件	江戸川第二終末処理場	273人

3 出張下水道教室の開催

職員が小学校へ出向き、下水道の仕組みなどを説明するとともに、実際に汚した水をきれいにする実験や微生物を観察する下水道教室を行った。

また、下水道の正しい使い方を説明し、水環境に負担をかけない生活を家族にも取り組んでもらうよう説明した。

令和5年度	学校数	授業数	受講者
	12校	25授業	642人
累計	306校	617授業	21,772人

4 親子下水道教室（施設見学会）の開催

各終末処理場の周辺地域に住む小学生とその保護者に下水道の仕組みや役割を説明、施設見学、水質浄化実験の実演、微生物の観察など下水道に関心を持ってもらう目的で開催した。

開催日	開催場所	参加者
令和5年8月5日（土）	江戸川第二終末処理場	160人

5 広報誌の作成

小学校の授業に活用してもらう副読本「下水道を学ぼう」を発行した。（約2万部）

6 下水道技術の調査研究

エネルギーと水質のバランスの取れた水処理の実現に向けて、送風量の最適化により電力量の削減と規制基準値を安定して、満足する処理水質の両立を目指す運転方法について、調査・検討・検証運転を実施した。

7 下水道技術者の養成

市町村及び県下水道担当職員を対象とする講習会を開催し、講義と併せて、3Dモデルや管更生工法の実演を行った。

また、市町村下水道担当職員を対象とし研修参加に要する費用の一部助成を行った。

令和5年度下水道担当職員講習会実績

開催日	テーマ	参加人数
令和5年5月19日(金)	1. 処理場管理の基本 2. これからの下水道事業の課題	75
令和5年11月9日(木)	1. 下水道事業を取り巻く流れ 2. 下水汚泥の肥料化について 3. 下水道からのリン除去・回収技術とその利活用 4. JSにおける建設DXの取組(実演あり) 5. 施工段階における下水道BIM/CIM活用方法(実演あり)	131
令和6年2月21日(水)	1. 中小口径管更生工法 F T - S工法について(実演あり) 2. 大口径管更生工法 ストリング工法について(実演あり)	58

- 8 特定費用準備資金として積立していた「普及啓発事業積立資産」、「災害支援積立資産」、「啓発施設積立資産」、「研修支援積立資産」について、内容と積立額の見直しを行い、新たに「デジタル技術導入積立資産」を追加した。

【管理事業】

- 1 花見川終末処理場管理業務受託
千葉県から花見川終末処理場の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理の業務を受託した。
- 2 花見川第二終末処理場管理業務受託
千葉県から花見川第二終末処理場の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理の業務を受託した。
- 3 手賀沼終末処理場管理業務受託
千葉県から手賀沼終末処理場の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理の業務を受託した。
- 4 江戸川第一終末処理場管理業務受託
千葉県から江戸川第一終末処理場の維持管理業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理の業務を受託した。
- 5 江戸川第二終末処理場管理業務受託
千葉県から江戸川第二終末処理場の維持管理業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理の業務を受託した。
- 6 再生水利用下水道施設管理業務受託
千葉県から印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を高度処理し、再利用水として幕張新都心の一部地区に供給する再生水利用下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理の業務を受託した。

7 下水処理水再利用施設管理業務受託

千葉県から印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を幕張新都心地区において、地域冷暖房システムの熱源として送水する下水処理水再利用施設の維持管理業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理の業務を受託した。

8 花見川処理水再利用事業

幕張新都心地区において、東京都市サービス㈱が行う地域冷暖房事業の熱源として花見川終末処理場の処理水を千葉県から承認された処理水利用権に基づき供給した。

流域下水道施設の概要

(令和5年3月現在)

流域名	印旛沼 流域下水道		手賀沼 流域下水道	江戸川左岸 流域下水道	
	花見川 終末処理場	花見川第二 終末処理場	手賀沼 終末処理場	江戸川第二 終末処理場	江戸川第一 終末処理場
供用開始	昭和49年4月	平成6年6月	昭和56年4月	昭和56年4月	令和3年3月
処理面積	18,146.3ha		7,771.8ha	11,589.9ha	
処理人口	1,323,470人		638,399人	1,255,732人	
管渠延長	166.4km		88.3km	105.6km	
中継ポンプ場	10か所※		1か所	3か所※	
流入水量(年間)	92,855,024m ³	59,182,438m ³	77,614,461m ³	135,172,060m ³	7,265,497m ³
同 (日平均)	253,702m ³ /日	161,701m ³ /日	212,642m ³ /日	369,323m ³ /日	19,851m ³ /日
処理場面積	約21ha	約24ha	約40ha	約26ha	計画 約30 ha
関係市町	12市1町		7市	8市	
	千葉市、船橋市、成田市、佐倉市 習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市 四街道市、八街市、印西市、白井市 富里市、酒々井町		松戸市、柏市 流山市、我孫子市 鎌ヶ谷市、印西市 白井市	市川市、船橋市、松戸市、野田市 柏市、流山市、鎌ヶ谷市、浦安市	

※印旛沼・江戸川左岸連絡幹線のポンプ場2か所は重複している。(本北方ポンプ場、習志野ポンプ場)

施設名	再生水利用下水道施設	下水処理水再利用施設
供用開始	平成元年10月	平成3年10月
供給地域	幕張新都心地区 幕張海浜公園ほか7施設	幕張新都心地区 約48.9ha
供給水量(年間)	193,839m ³	29,067,881m ³
同 (日平均)	530m ³	79,420m ³

※流入水量及び供給水量については、令和6年3月末現在で記載している。

【建設事業】

- 1 公共下水道設計業務受託（9団体）
木更津市、佐倉市、八千代市、四街道市、白井市、富里市、芝山町、一宮町、長生村から幹線管渠等の実施設計業務を受託した。
- 2 公共下水道設計積算業務受託（1団体）
長生村から公共下水道施設に係る設計積算業務を受託した。
- 3 公共下水道建設工事受託（11団体）
市川市、木更津市、成田市、佐倉市、八千代市、四街道市、白井市、富里市、香取市、芝山町、一宮町から幹線管渠及びポンプ場の建設工事を受託した。
- 4 公共下水道施工監理業務受託（1団体）
長生村から公共下水道施設の建設工事に係る施工監理を受託した。

Ⅲ 庶務

評議員会及び理事会の開催状況

令和5年度における評議員会及び理事会の開催状況は次のとおり。

【評議員会】

回	開催(決議)年月日	決定事項	
第1回 (定時)	令和5年6月16日	議案第1号	令和4年度事業報告及び決算報告の承認について
		議案第2号	理事及び監事の選任について
		報告事項	令和5年度事業計画及び予算について

【理事会】

回	開催(決議)年月日	決定事項	
第1回 (臨時)	令和5年4月12日	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社常勤役員報酬月額の設定について
第2回 (定時)	令和5年5月26日	議案第1号	令和4年度事業報告及び決算報告について
		議案第2号	令和5年度第1回評議員会及び付議する事項について
		報告事項	代表理事・業務執行理事の業務執行状況の報告について
第4回 (臨時)	令和6年1月30日	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社給与支給規程の一部を改正する規程の制定について
		議案第2号	公益財団法人千葉県下水道公社常勤役員報酬月額の改定について

第5回 (定時)	令和6年3月25日	議案第1号	特定費用準備資金における普及啓発事業積立資産の積立額及び計画期間の変更について
		議案第2号	特定費用準備資金における研修支援積立資産の積立額の変更について
		議案第3号	特定費用準備資金における災害支援積立資産の積立額の変更について
		議案第4号	特定費用準備資金における啓発施設積立資産の積立額の変更について
		議案第5号	特定費用準備資金におけるデジタル技術導入積立資産の積立てについて
		議案第6号	令和5年度補正収支予算(第1号)について
		議案第7号	令和6年度事業計画及び収支予算について
		議案第8号	公益財団法人千葉県下水道公社就業規則の一部を改正する規則の制定について
		議案第9号	公益財団法人千葉県下水道公社旅費支給規程の一部を改正する規程の制定について
第6回 (臨時)	令和6年3月29日	報告事項	代表理事・業務執行理事の業務執行状況の報告について
		議案第1号	令和6年度第1回評議員会及び付議する事項について

役職員の状況

【評議員】

令和6年3月31日現在

役職名	氏名	備考
評議員	鈴木 徹	鈴木徹税理士事務所代表
	太田 三郎	千葉商科大学商経学部名誉教授
	武間 豊夫	(元)当公社理事長
	白井 忠和	(元)東京湾横断道路(株)常勤監査役

任期:4年(令和3年6月25日から令和8年6月開催の評議員会の終結の時まで)

【役員】

令和6年3月31日現在

役職名	氏名	備考
理事長	高橋 伸生	常勤
専務理事	吉田 謙	(総務部長事務取扱) 常勤
常務理事	山口 浩	(建設部長事務取扱) 常勤
理事	小川 剛志	千葉県県土整備部都市整備局長 非常勤
理事	藤田 泰博	市川市下水道部長 非常勤
理事	渡邊 修一	茂原市都市建設部長 非常勤
理事	内田 勝範	柏市上下水道局理事 非常勤
理事	小川 勝	八千代市上下水道局長 非常勤
理事	堀越 浩貴	芝山町まちづくり課長 非常勤

任期:2年(令和4年6月23日から令和6年6月開催の評議員会の終結の時まで)

【監事】

令和6年3月31日現在

監事	大木 清	(元)千葉県監査委員事務局調整課長 非常勤
監事	今井 靖容	公認会計士 非常勤

任期:4年(令和2年6月12日から令和6年6月開催の評議員会の終結の時まで)

【職員の状況】

令和6年3月31日現在(単位:人)

所属	千葉県からの派遣	プロパー	計
総務部	部長※1		
	総務課		7
	計	0	7
施設管理部	部長		1
	管理課		4
	花見川処理場		7
	花見川第二処理場		4
	手賀沼処理場		5
	江戸川処理場		8
	江戸川第一処理場		4
計	0	33	33
建設部	部長※2		
	建設課		10
	計	0	10
合計	0	50	50

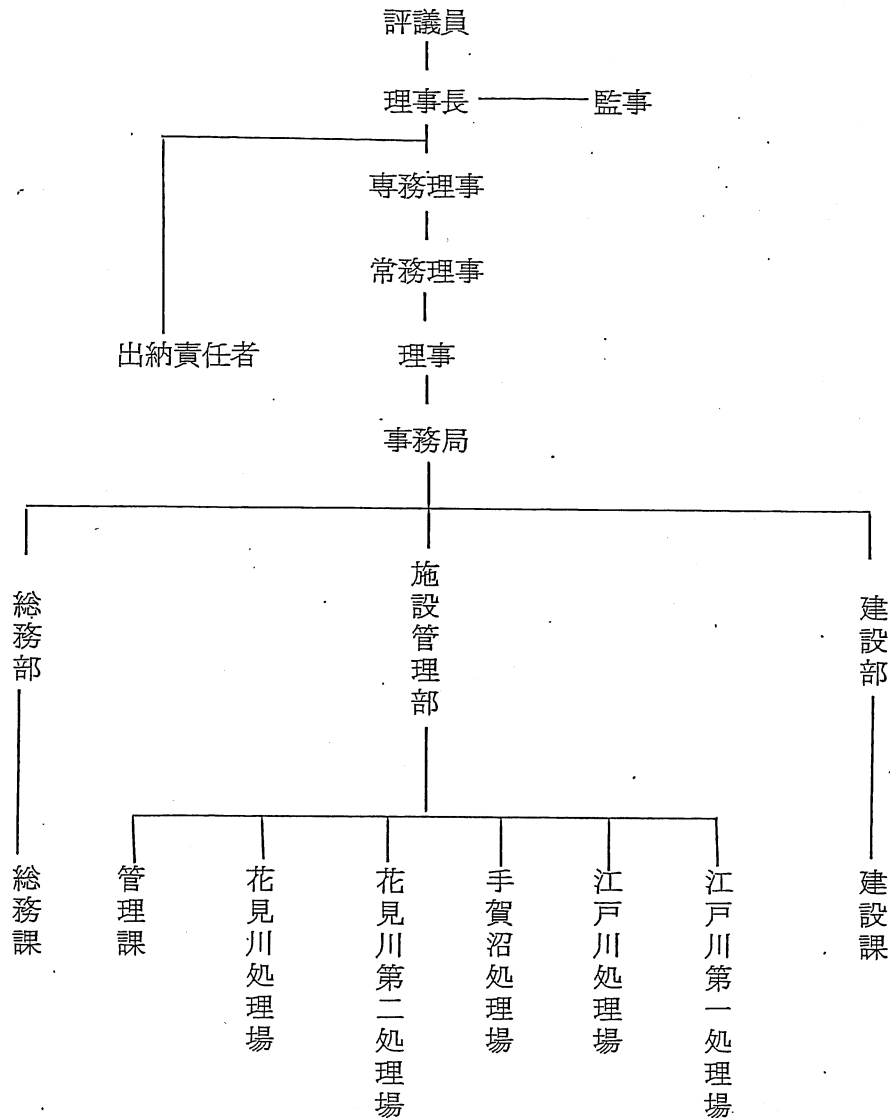
※1専務理事事務取扱

※2常務理事事務取扱

プロパー職員数に嘱託職員(5人)を含む

【組織図】

令和6年3月31日現在



決 算 報 告 書

(財 務 諸 表)

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,265,416,565	2,593,896,152	△ 1,328,479,587
未収金	341,259,071	185,481,709	155,777,362
前払金	188,264	198,622	△ 10,358
仮払金	26,400	174,900	△ 148,500
貯蔵品	104,713,860	90,368,756	14,345,104
未成工事支出金	2,470,362,049	1,321,658,203	1,148,703,846
流動資産合計	4,181,966,209	4,191,778,342	△ 9,812,133
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	7,000,000	7,001,967	△ 1,967
基本財産投資有価証券	360,000,000	359,998,033	1,967
基本財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	325,833,544	304,972,824	20,860,720
調査研究事業積立資産	12,105,000	12,105,000	0
普及啓発事業積立資産	186,486,544	294,325,000	△ 107,838,456
啓発施設積立資産	78,892,000	262,370,719	△ 183,478,719
災害支援積立資産	26,988,000	40,000,000	△ 13,012,000
研修支援積立資産	15,061,900	4,929,000	10,132,900
デジタル技術導入積立資産	224,963,920	0	224,963,920
特定資産合計	870,330,908	918,702,543	△ 48,371,635
(3) その他固定資産			
工具器具備品	946,300	946,300	0
工具器具備品減価償却累計額	△ 946,298	△ 946,298	0
電話加入権	655,200	859,200	△ 204,000
その他固定資産合計	655,202	859,202	△ 204,000
固定資産合計	1,237,986,110	1,286,561,745	△ 48,575,635
資産合計	5,419,952,319	5,478,340,087	△ 58,387,768
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,086,434,214	1,919,142,975	△ 832,708,761
前受金	2,476,320,000	1,766,630,000	709,690,000
預り金	226,521,683	142,725,589	83,796,094
賞与引当金	30,331,463	29,323,223	1,008,240
流動負債合計	3,819,607,360	3,857,821,787	△ 38,214,427
2. 固定負債			
退職給付引当金	325,833,544	304,972,824	20,860,720
固定負債合計	325,833,544	304,972,824	20,860,720
負債合計	4,145,440,904	4,162,794,611	△ 17,353,707
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	367,000,000	367,000,000	0
指定正味財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(367,000,000)	(367,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産			
907,511,415	948,545,476	△ 41,034,061	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(544,497,364)	(613,729,719)	△ 69,232,355
正味財産合計	1,274,511,415	1,315,545,476	△ 41,034,061
負債及び正味財産合計	5,419,952,319	5,478,340,087	△ 58,387,768

正 味 財 産 増 減 計 算 書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	1,333,195	1,361,464	△ 28,269	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	199	199	0	
③ 事業収益				
下水道知識普及啓発事業収益	605,000	805,000	△ 200,000	
花見川終末処理場管理受託事業収益	84,217,212	81,861,072	2,356,140	
花見川第二終末処理場管理受託事業収益	55,639,431	48,859,871	6,779,560	
手賀沼終末処理場管理受託事業収益	68,402,241	59,295,167	9,107,074	
江戸川第一終末処理場管理受託事業収益	477,691,950	421,581,489	56,110,461	
江戸川第二終末処理場管理受託事業収益	2,544,144,943	2,363,160,835	180,984,108	
再生水利用下水道管理受託事業収益	3,757,041	3,727,847	29,194	
下水処理水再利用管理受託事業収益	59,710,806	52,369,810	7,340,996	
花見川処理水再利用事業収益	78,749,376	72,301,203	6,448,173	
公共下水道設計業務受託事業収益	278,609,101	257,700,009	20,909,092	
公共下水道設計積算業務受託事業収益	3,945,455	4,600,000	△ 654,545	
公共下水道建設工事受託事業収益	1,184,508,089	1,409,267,953	△ 224,759,864	
公共下水道施工監理受託事業収益	5,800,000	7,163,637	△ 1,363,637	
事業収益計	4,845,780,645	4,782,693,893	63,086,752	
④ 雑収益				
受取利息				
雑収益	2,583	67,700	△ 65,117	
雑収益計	2,583	67,700	△ 65,117	
		0	0	
経常収益計	4,847,116,622	4,784,123,256	62,993,366	
(2) 経常費用				
① 事業費				
役員報酬	21,535,698	21,020,942	514,756	
報酬	1,433,825	1,420,749	13,076	
給料	163,350,821	165,854,520	△ 2,503,699	
諸手当	93,988,029	93,022,459	965,570	
法定福利費	48,580,490	48,646,705	△ 66,215	
退職給付費用	22,996,485	19,861,656	3,134,829	
賃金	5,076,572	4,958,239	118,333	

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
旅費	1,551,675	993,482	558,193	
厚生費	2,432,961	1,942,362	490,599	
会議費	143,865	130,063	13,802	
消耗品費	753,370,744	725,977,599	27,393,145	
燃料費	2,006,492	2,334,498	△ 328,006	
印刷製本費	3,794,708	3,490,071	304,637	
光熱水費	699,583	209,100	490,483	
通信運搬費	3,878,578	3,815,824	62,754	
手数料	901,161	879,291	21,870	
賃借料	20,489,495	18,748,769	1,740,726	
修繕費	418,293,453	331,881,000	86,412,453	
備品費	950,750	663,720	287,030	
保険料	318,893	305,443	13,450	
交際費	3,688	21,304	△ 17,616	
諸税公課費	2,434,213	2,935,970	△ 501,757	
広告費	409,528	708,530	△ 299,002	
諸謝金	313,458	198,797	114,661	
支払負担金	6,564,688	5,749,597	815,091	
委託料	2,019,496,321	1,865,430,808	154,065,513	
工事費	1,164,330,438	1,370,519,808	△ 206,189,370	
施設管理費	78,749,376	72,301,203	6,448,173	
支払寄付金	24,340	24,118	222	
賞与引当金繰入額	29,606,021	28,533,573	1,072,448	
雑費	87,131	85,780	1,351	
車借上	0	0	0	
事業費計	4,867,813,480	4,792,665,980	75,147,500	
②管理費				
役員報酬	5,008,302	5,127,058	△ 118,756	
報酬	333,448	346,524	△ 13,076	
給料	4,105,019	4,505,952	△ 400,933	
諸手当	3,235,423	3,536,585	△ 301,162	
法定福利費	2,189,715	2,340,169	△ 150,454	
退職給付費用	324,235	785,431	△ 461,196	
賃金	413,264	432,117	△ 18,853	
旅費	67,017	83,499	△ 16,482	
厚生費	553,008	462,741	90,267	
会議費	33,457	31,722	1,735	
消耗品費	678,290	858,235	△ 179,945	
燃料費	13,422	14,111	△ 689	
印刷製本費	18,132	23,509	△ 5,377	

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
通信運搬費	213,751	220,879	△ 7,128	
手数料	77,409	76,667	742	
賃借料	1,307,217	1,272,905	34,312	
修繕費	7,547	0	7,547	
備品費	0	0	0	
交際費	858	5,196	△ 4,338	
諸税公課費	1,811	5,647	△ 3,836	
広告費	25,472	26,470	△ 998	
諸謝金	66,555	48,486	18,069	
支払負担金	274,358	418,312	△ 143,954	
委託料	557,411	201,476	355,935	
支払寄付金	5,660	5,882	△ 222	
賞与引当金繰入額	614,172	678,380	△ 64,208	
雑費	8,250	8,322	△ 72	
車借上			0	
管理費計	20,133,203	21,516,275	△ 1,383,072	
経常費用計	4,887,946,683	4,814,182,255	73,764,428	
当期経常増減額	△ 40,830,061	△ 30,058,999	△ 10,771,062	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	204,000	0	204,000	
経常外費用計	204,000	0	204,000	
当期経常外増減額	△ 204,000	0	△ 204,000	
当期一般正味財産増減額	△ 41,034,061	△ 30,058,999	△ 10,975,062	
一般正味財産期首残高	948,545,476	978,604,475	△ 30,058,999	
一般正味財産期末残高	907,511,415	948,545,476	△ 41,034,061	
II 指定正味財産増減の部				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	1,333,195	1,361,464	△ 28,269	
② 一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 1,333,195	△ 1,361,464	28,269	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	367,000,000	367,000,000	0	
指定正味財産期末残高	367,000,000	367,000,000	0	
III 正味財産期末残高	1,274,511,415	1,315,545,476	△ 41,034,061	

正味財産増減計算書内訳表

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計 下水道の整備 促進事業	法人会計	内部取引 消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息	1,333,195			1,333,195
②特定資産運用益				
特定資産受取利息	199			199
③事業収益				
下水道知識普及啓発事業収益	605,000			605,000
花見川終末処理場管理受託事業収益	84,217,212			84,217,212
花見川第二終末処理場管理受託事業収益	55,639,431			55,639,431
手賀沼終末処理場管理受託事業収益	68,402,241			68,402,241
江戸川第一終末処理場管理受託事業収益	477,691,950			477,691,950
江戸川第二終末処理場管理受託事業収益	2,544,144,943			2,544,144,943
再生水利用下水道管理受託事業収益	3,757,041			3,757,041
下水処理水再利用管理受託事業収益	59,710,806			59,710,806
花見川処理水再利用事業収益	78,749,376			78,749,376
公共下水道設計業務受託事業収益	278,609,101			278,609,101
公共下水道設計積算業務受託事業収益	3,945,455			3,945,455
公共下水道建設工事受託事業収益	1,164,374,886	20,133,203		1,184,508,089
公共下水道施工監理受託事業収益	5,800,000			5,800,000
事業収益計	4,825,647,442	20,133,203	0	4,845,780,645
④雑収益				
受取利息				
雑収益	2,583			2,583
雑収益計	2,583	0	0	2,583
				0
経常収益計	4,826,983,419	20,133,203	0	4,847,116,622
(2) 経常費用				
①事業費				
役員報酬	21,535,698			21,535,698
報酬	1,433,825			1,433,825
給料	163,350,821			163,350,821
諸手当	93,988,029			93,988,029
法定福利費	48,580,490			48,580,490
退職給付費用	22,996,485			22,996,485
賃金	5,076,572			5,076,572

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計 下水道の整備 促進事業	法人会計	内部取 引消去	合計
旅費	1,551,675			1,551,675
厚生費	2,432,961			2,432,961
会議費	143,865			143,865
消耗品費	753,370,744			753,370,744
燃料費	2,006,492			2,006,492
印刷製本費	3,794,708			3,794,708
光熱水費	699,583			699,583
通信運搬費	3,878,578			3,878,578
手数料	901,161			901,161
賃借料	20,489,495			20,489,495
修繕費	418,293,453			418,293,453
備品費	950,750			950,750
保険料	318,893			318,893
交際費	3,688			3,688
諸税公課費	2,434,213			2,434,213
広告費	409,528			409,528
諸謝金	313,458			313,458
支払負担金	6,617,248			6,617,248
委託料	2,019,443,761			2,019,443,761
工事費	1,164,330,438			1,164,330,438
施設管理費	78,749,376			78,749,376
支払寄付金	24,340			24,340
賞与引当金繰入額	29,606,021			29,606,021
雑費	87,131			87,131
				0
事業費計	4,867,813,480	0	0	4,867,813,480
②管理費				
役員報酬		5,008,302		5,008,302
報酬		333,448		333,448
給料		4,105,019		4,105,019
諸手当		3,235,423		3,235,423
法定福利費		2,189,715		2,189,715
退職給付費用		324,235		324,235
賃金		413,264		413,264
旅費		67,017		67,017
厚生費		553,008		553,008
会議費		33,457		33,457
消耗品費		678,290		678,290
燃料費		13,422		13,422
印刷製本費		18,132		18,132

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計 下水道の整備 促進事業	法人会計	内部取 引消去	合計
通信運搬費		213,751		213,751
手数料		77,409		77,409
賃借料		1,307,217		1,307,217
修繕費		7,547		7,547
交際費		858		858
諸税公課費		1,811		1,811
広告費		25,472		25,472
諸謝金		66,555		66,555
支払負担金		274,358		274,358
委託料		557,411		557,411
支払寄付金		5,660		5,660
賞与引当金繰入額		614,172		614,172
雑費		8,250		8,250
				0
管理費計	0	20,133,203	0	20,133,203
経常費用計	4,867,813,480	20,133,203	0	4,887,946,683
当期経常増減額	△ 40,830,061	0	0	△ 40,830,061
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	204,000			204,000
経常外費用計	204,000	0	0	204,000
当期経常外増減額	△ 204,000	0	0	△ 204,000
当期一般正味財産増減額	△ 41,034,061	0	0	△ 41,034,061
一般正味財産期首残高	948,545,476	0	0	948,545,476
一般正味財産期末残高	907,511,415	0	0	907,511,415
II 指定正味財産増減の部				
① 基本財産運用益	1,333,195			
基本財産受取利息				0
② 一般正味財産への振替額	△ 1,333,195			
一般正味財産への振替額				0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	367,000,000			367,000,000
指定正味財産期末残高	367,000,000	0	0	367,000,000
III 正味財産期末残高	1,274,511,415	0	0	1,274,511,415

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産（貯蔵品）の評価基準及び評価方法
棚卸資産（貯蔵品）の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
無形固定資産・・・定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
ア.賞与引当金・・・職員に対する賞与（期末勤勉手当）の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき見積額を計上している。
イ.退職給与引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産普通預金	7,001,967		1,967	7,000,000
基本財産投資有価証券	359,998,033	1,967		360,000,000
小計	367,000,000	1,967	1,967	367,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	304,972,824	20,860,720		325,833,544
調査研究事業積立資産	12,105,000			12,105,000
普及啓発事業積立資産	294,325,000		107,838,456	186,486,544
啓発施設積立資産	262,370,719		183,478,719	78,892,000
災害支援積立資産	40,000,000		13,012,000	26,988,000
研修支援積立資産	4,929,000	10,132,900		15,061,900
デジタル技術導入積立資産		224,963,920		224,963,920
小計	918,702,543	255,957,540	304,329,175	870,330,908
合計	1,285,702,543	255,959,507	304,331,142	1,237,330,908

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基本財産普通預金	7,000,000	(7,000,000)		
基本財産投資有価証券	360,000,000	(360,000,000)		
小計	367,000,000	(367,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	325,833,544			(325,833,544)
調査研究事業積立資産	12,105,000		(12,105,000)	
普及啓発事業積立資産	186,486,544		(186,486,544)	
啓発施設積立資産	78,892,000		(78,892,000)	
災害支援積立資産	26,988,000		(26,988,000)	
研修支援積立資産	15,061,900		(15,061,900)	
デジタル技術導入積立資産	224,963,920		(224,963,920)	
小計	870,330,908		(544,497,364)	(325,833,544)
合計	1,237,330,908	(367,000,000)	(544,497,364)	(325,833,544)

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
千葉県公募公債			
平成26年度第4回(10年)	40,000,000	40,089,200	89,200
平成27年度第4回(10年)	40,000,000	40,236,000	236,000
平成28年度第6回(10年)	40,000,000	39,895,600	△104,400
平成30年度第5回(10年)	40,000,000	39,586,000	△414,000
令和元年度第5回(10年)	40,000,000	39,210,000	△790,000
令和2年度第8回(10年)	40,000,000	38,874,800	△1,125,200
令和3年度第6回(10年)	40,000,000	38,458,400	△1,541,600
令和4年度第8回(10年)	40,000,000	40,028,000	28,000
令和5年度第5回(10年)	40,000,000	39,916,400	△83,600
合計	360,000,000	356,294,400	△3,705,600

5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息への振替額	1,333,195
合計	1,333,195

6 固定資産の除却、及び当期末残高

(単位：円)

科目	取得価格	除却額	当期末残高
電話加入権	859,200	204,000	655,200

公社設立時の旧電算専用回線(1回線)について、未使用のまま30年が経過し、NTT東日本電話サービス契約約款に基づき解除されていたため除却する。

7 その他

○退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

職員退職手当支給規程に基づく退職一時金制度、中小企業退職金共済制度と閉鎖型確定給付年金制度を採用している。

(2) 退職給付債務及び内訳

(単位：円)

①退職給付債務	404,325,289
②中小企業退職金共済からの支給見込額	78,491,745
③退職給付引当金(①-②)	325,833,544

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①退職給付費用(勤務費用)	20,860,720
---------------	------------

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算にあたっては、簡便法を採用しており、退職給付に係わる期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度の退職金支給見込額を除いた額を退職給付金として計上している。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載しているので、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	29,323,223	30,220,193	29,211,953		30,331,463
退職給付引当金	304,972,824	20,860,720			325,833,544

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金預金	普通預金	運転資金として		
	千葉銀行本店営業部		1,224,443,038	
	千葉興業銀行本店営業部		20,954,568	
	京葉銀行本店営業部		18,959	
	定期預金			
	千葉銀行本店営業部		10,000,000	
	京葉銀行本店営業部		10,000,000	
	未収金	受託市町村等	公益目的事業に係る受託収益等	341,259,071
	前払金	労働保険料	令和6年度分	188,264
	仮払金	福利厚生費	令和6年度分	26,400
貯蔵品		薬品及びびろ布の年度末在庫	104,713,860	
未成工事支出金		繰越工事の支出済工事費	2,470,362,049	
流動資産合計			4,181,966,209	
(固定資産)				
基本財産	現金預金	普通預金		
	千葉銀行本店営業部	公益目的保有財産で運用益を 公益目的事業の財源とする	7,000,000	
特定資産	投資有価証券	千葉県公募公債(10年)9口	360,000,000	
			(基本財産計)	
			367,000,000	
	退職給付引当資産	普通預金		
		千葉興業銀行本店営業部	引当金見合の引当資産として 管理している。	315,833,544
	調査研究事業積立資産	定期預金		
		千葉興業銀行本店営業部		10,000,000
	普及啓発事業積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために 引当資産として保有している	
		千葉銀行本店営業部		12,105,000
	啓発施設積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために 引当資産として保有している	
千葉銀行本店営業部			186,486,544	
災害支援積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために 引当資産として保有している		
	千葉銀行本店営業部		78,892,000	
研修支援積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために 引当資産として保有している		
	千葉銀行本店営業部		26,988,000	
デジタル技術導入積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために 引当資産として保有している		
	千葉銀行本店営業部		15,061,900	
その他固定資産	工具器具備品	金属名板他	224,963,920	
		(工具器具備品減価償却累計額)	946,300	
	電話加入権	公益目的事業で使用している	△ 946,298	
固定資産合計			655,200	
資産合計			1,237,986,110	
(流動負債)				
未払金	業者に対する未払金他	公益目的事業に係る未払金他	1,086,434,214	
	前受金	未成工事費市川市他	2,476,320,000	
	預り金	受託料精算残金他	226,521,683	
	賞与引当金	職員賞与当年度負担見込額	30,331,463	
	流動負債合計			3,819,607,360
(固定負債)				
退職給付引当金	職員に対する退職債務		325,833,544	
固定負債合計			325,833,544	
負債合計			4,145,440,904	
正味財産			1,274,511,415	